



—遠くを見る目、近くを見る目—

視力検査は5mを遠方視力、1/3mを近方視力として見え方を調べるのが一般的です。健診と眼科での視力測定の違いは、裸眼視力の数値もさることながら、その視力値を引き出すために働いた屈折力や調節力を調べるか否か、ということになります。裸眼視力のみを測定する健診では、屈折や調節といった目の状態までは分かりません。

目は遠くを見るとき交感神経、近くは副交感神経を主に働かせてピントを合わせ仕事をします。屈折や調節に少々の無理

や不具合があっても私達に鮮明な画像を提供してくれませう。しかし、過度な仕事量を要求すれば交感神経の必要以上の緊張、副交感神経と交感神経の作用のアンバランスにより自律神経に影響が出てきます。眼精疲労とは自律神経の不調がたまった状態ですが、人それぞれ自覚症状に差があります。

スマートフォンやタブレットが台頭し、近距離で目を使う仕事が増えた昨今、楽に近くを見る目が必要でです。また眼精疲労の増加は、遠方視で交

感神経による過度の調節が働いた状態をもたらす、かすみ目や飛蚊症、過矯正の眼鏡を使う原因になります。楽に遠くを見る目も必要です。

裸眼視力がよければ問題ないといついつい考えがちですが、眼精疲労の症状が軽いうちに屈折異常や調節の不具合を根本的に解消しておけば、日々の生活をもっと快適に送れます。当院外来を受診された際には、適正眼鏡やコンタクトレンズで遠方、および近方も矯正させていただきます。

(院長・伊田直史)



伊田眼科クリニック

- ・眼科一般
- ・日帰り手術
- ・コンタクトレンズ取り扱い

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9:30	○	○	○	○	○	○	△
12:30	○	○	○	○	○	○	△
15:30	○	手術	○	△	○	○	△
18:30							

【休診日】木・土曜午後
日曜、祝日

TEL 079-556-8600

三田市武庫が丘7-7-4 エムズⅡビル1階

<http://www.ida-ganka.com>

